

白馬岳(2932m)山行報告

【山行日】2019年 8月 3・4(土日) 晴れ

【集 合】岩舟支所 AM 4:00

【費 用】マイカー2台 : 18,100円

【メンバー】CL大西 SL鈴木、安西、伊藤、菊池、
島田、清水、五月女、津佐、鶴見、
並木、福島、藤原、吉田

【コースタイム】

3日: 岩舟支所 4:00=栂池高原P6:45/7:05=

猿倉登山口 7:30/7:50~白馬尻小屋 9:00~葱平 11:40/12:20~村営頂上小屋 14:00~白馬山荘
15:00



いよいよ憧れの山白馬岳に14名で出発です。

私は計画通りの山行で時間のずれを心配し、前日時間厳守のメールを送り皆さんへ協力をお願い



いしました。皆さんがスムーズに集合し、栂池高原に予定通り着きました。身支度を整えタクシーに乗り猿倉登山口へ向かいます。運転手さんの話では、今日は大勢の登山者がいるとの事でした。登山届提出・・・トイレ・・・ストレッチを済ませ出発です。山荘の左から樹林帯に入り少し登ると林道に出て緩やかな登りが続きます。正面に見えるのが白馬岳から小蓮華岳に続く稜線のように。途中から林道は登山道になり、樹林の中の急登を

汗を流しながら一步一步登ります。村営白馬尻荘の屋根が見え、「おつかれさま」と書かれた大きな岩を過ぎると白馬尻に着きます。ここで大休止し、トイレを済ませ果物を食べ水分をとります。私は小腹がすいたので小さなお結びを食べ白馬大雪溪の登りに備えます。ここから1

5分程登り、雪溪と書かれた所でキヌガサソウを見つけました。ケルンの傍で皆さんアイゼンを付けているので、私たちも各自アイゼンを装着します。針ノ木岳の時より数段手際よく、時間が短くなり“素晴らしい”と感心しました。雪溪は大方の人が針ノ木で経験したので、歩きもスムーズに登ります。一步一步雪溪にアイゼンを効かせながら歩き、大勢のパーティーなので高度をゆっくりあげて行きます。途中、前のパーティーが休憩したが、もう少しと休まず進みます。今年は雪解けが早く、大雪溪の末端まで行かず白馬岳側の斜面に取りつきます。



大勢の登山者がアイゼンを外して休んでいます。私たちもアイゼンを外し、込み合っているので休憩は諦め、安全地帯を目指しきつい急登をジグザグと登って行きます。

傾斜が緩くなって広い場所が出て、お昼を食べられると思えば腰を下ろします。お湯を沸かし、



それぞれ持参したカップ麺やスープを作り、美味しいランチを楽しみました。お腹が空いていたので、本当に美味しいです。雪渓で休めなかったので、トマトや大根、きゅうりの漬物・ピー味噌・卵焼き等が並び豪華なランチを楽しみました。皆さん満腹になり後半の登りに駒を進めます。実はここからの登りが辛いですが、淡々と岩稜のガレ場を進みます。小雪渓は雪が少なくアイゼンを使うことなくトラバースできました。

避難小屋があり小休憩を入れ、流れる汗を拭って休憩します。ここから先はコース中もとても楽しみな、お花畑を歩くプロムナードです。シロウマオウギ・イワオウギ・シロウマアサツキ・クルマユリ・ハクサンフウロ・タカネナデシコ・シナノキンバイ・ウルップソウ等々を確認しながらゆっくり歩きます。お花畑のベンチで休憩後、いよいよ村営頂上宿舎に到着しました。トイレ休憩をとり、冷たい飲み物を購入して笑みも出て、あと少しと白馬山荘に向かいます。宿泊の手続きをしたら部屋に行き、荷物を置いて落ち着きます。今回はラッキーで2部屋が頂け、一人一枚の布団で寝られることになりました。



部屋割りを終えたらザックを置き、お楽しみの宴会が始まります。各自おもいおもいの飲み物を購入し、笑顔の乾杯が出来ました。6時40分の夕食後、外のベンチで夕日が沈む北アルプスの絶景を楽しみました。明日の早起きに備え、早々と就寝しました。

4日： 白馬山荘 5:40～白馬岳 6:00/6:10～小蓮華岳 7:40～白馬大池 9:30～乗鞍岳～天狗原 11:40～栂池山荘 12:40≠≠栂池高原 13:20/14:45(温泉)＝昼食 15:30＝岩舟支所 19:45

四時前から目が覚め準備を整えて食堂前に集合し、一番の食事を摂りいよいよ白馬岳です。



先頭の私は心臓が苦しく後ろに下がってゆっくり登り、何とか山頂に到着しました！

今日も天気が良く剣岳が正面に聳え、360度の大展望です。素晴らしい！！

大休止して記念写真を撮り、北アルプスの大パノラマを堪能しました。白馬山頂から白馬大池までは、展望の稜線歩きが続きます。山頂から三国境まで下り、ザレた斜面を横切ると稜線に合流し、少し頑張ると小蓮華山に到着します。皆さんがハイマツの先を指さしているので、雷

鳥がいると思えば静かに下って行きます

ハイマツの所に雷鳥一羽確認できました。ラッキー！！

岩稜から離れて雷鳥坂を下り、ハイマツに囲まれた窪地を抜け真っ青な白馬大池湖畔に到着しました。トイレ休憩後、巨岩群を登り返して平坦な乗鞍岳に到着しました。人が多くすれ違



に時間を要します。ここから巨岩群を急降下するが、とても手強い下りでした。途中、雪溪の下りが出てビクビクしながら下ります。歩きにくい巨岩の下りが続き、眼下に天狗原の木道が見えてきたが中々着きません。やっと木道に入り楽な歩きになった思いきや、あっという間に樹林帯の下りとなります。ジグザグジグザグ下るが中々楽な歩きになりません。

やっと梅池自然園の建屋が見え、道も楽になりもう少しと下り、ロープウェー駅に着きホッと

しました。後はロープウェーに乗りゴンドラに乗り換えて、無事駐車場に到着しました。温泉セットを持参して45分の温泉タイムで、汗をかいた体や足を労わってホッとします。ここから白馬のファミレスまで車で走り、各自お好みのランチを注文し美味しくいただきます。クーラーの効いたレストランで、冷たい水をゴクゴク飲んで美味しいランチをいただき幸せを満喫できました。(笑)

その後は道の駅でご褒美やお土産を買って帰路につきました。

暑い暑い白馬岳に登頂！本当に頑張りました。お疲れ様でした。大きな花丸でした。

【H・Sさんの感想】 ～登山1年生・目一杯背伸びをして臨んだ白馬岳～

★猿倉からの歩き出し、灼熱地獄で気絶しそうになりました。

★なんとか大雪溪にたどり着き、鼻水を垂らすほど冷やされました。

★お昼ご飯の時、用意した2リットルの水が底を尽きかけている事に気づき心臓が早鐘を打ち焦っていたところ、二人のママに助けられました。

★急登のお花畑の中を、「頑張れ浩子！」と、何度も言い、奮い立たせながら登りました。

★村営小屋にたどり着き、Wi-Fiが繋がる事に驚きました。

★見えてきた白馬山荘と白馬岳、感動の涙で目が霞んでいたからか、どちらも、想像よりも小さかったです。

★やっとこたどり着いた山荘から見た景色、その大きさは、私の想像を遥かに超えるもので、まさに【絵葉書の世界】でした。

★山頂から見た朝日に照らされた景色は神々しく、目に飛び込んできた山々のパノラマの大きさに圧倒され、全身が震え、鳥肌が立ちました。



★頑張って登ったご褒美の稜線歩きは楽しく、振り返り見た白馬岳は、凜とした美人さんで、とっても大きくて、そこに立てた自分が誇らしく思いました。

山を殆ど知らない初心者の私が、先輩の行きたい山に自分も憧れ、1度は登る事から逃れようとしたのですが、目一杯背伸びをしてあの素晴らしい景色の中に立つ事が出来ました。

いつも私の前を歩くお方にも、現場でご指導いただきました。

ご一緒していただいた皆様、私の歩きが遅く足踏みをさせてしまいましたが、大変お世話になり、ありがとうございました。



鈴木さん、大西さん

私の成長を見守り、何度も励ましてくださいましたね。

お二人から褒めていただき、嬉しくて頑張る事が出来ました。

山のパパとママ、ありがとうございました。

【M・Aさんの感想】

白馬岳登頂、(^.^)ノバンザイ

夏山行の第2弾は、待ちに待った憧れの花の名峰『白馬岳』

1日目は、猿倉から白馬山荘まで、標高差1,600mを一気に登る。不安と喜びで登山開始。



梅雨明け早々で、暑さで体力が消耗して行く。何とか仲間に遅れを取らないように懸命について行く。

大雪渓を登り終わると、登山道脇に見事なお花畑が出迎えてくれた。

気持ちが癒され、足取りも軽くなり白馬山荘に早々に到着しました。

ここからの眺めは、言葉にならない程素晴らしい。

この眺望を見たいが為に、私は今まで頑張ってトレーニングをして来ました。

“やはり最高だ!!!” ずっとここに居たいと素直に思いました。

2日目は、白馬岳～小蓮華岳～白馬大池までは稜線歩きが続く。

360度の大パノラマと一面の緑と多種多様なお花を見ながら、仲間とのおしゃべりは気持ちが和みます。白馬乗鞍岳～梅池までは、岩場だらけで注意しながら下山しました。

登山を始めてまだ1年ですが、仲間に励まされ天気にも恵まれ3000m級の山を踏破出来た事に感謝しております。ありがとうございました。